

2021(令和3)年度 企画展

# 排除に抗するための写真展

# 非平和展



インド 新型コロナ 病院の混雑  
Photo: Danish Siddiqui/REUTERS/Aflo



ブラジル 違法伐採される先住民の土地  
Photo: Tommaso Protti for Fondation Carmignac

開催期間:2021(令和3)年 11月6日(土)～12月5日(日)

開催期間中の休館日: 11月8日、15日、16日、22日、29日

開催場所: 川崎市平和館 1階 平和の広場

入場無料

開館時間: 9:00-17:00

主催: 川崎市平和館

協力: 一般社団法人 共同通信社(写真提供)  
認定NPO法人 Homedoor(写真提供)  
根本美樹(写真コーディネーター)

～お問い合わせ先～

川崎市平和館: 川崎市中原区木月住吉町33-1 Tel: 044-433-0171



# 排除に抗するための写真展 非平和展について

平和学という学問では、戦争も含め、貧困や、環境問題、差別など、さまざまな尊厳ある平和的な生が損なわれた状態を「非平和」と呼んでいます。そして、非平和な状態は、「暴力」によって作り出されると考えています。平和学で使われる「暴力」概念は、戦争で人を殺す、殴る・蹴る、ひどいことを相手に言うなど、私たちが、暴力と言われてすぐに思い浮かべるものよりも、ずっと幅が広い概念で、貧困状態や、地球温暖化などを生み出している社会の構造も暴力と考えます。そして、直接的でも構造的でも暴力の行使を正当化したり、仕方がないこととする言説や情緒なども暴力として捉えています。(文化的暴力)

昨年から、私たちの社会にさまざまな困難をもたらしているコロナ禍のような災害など、社会に困難が充満している時期は、暴力の行使が仕方がないこととされてしまいやすい時期でもあります。

2021(令和3)年度の非平和展は、暴力を正当化する文化的暴力を、「排除」という角度から見つめた写真展を開催します。パンデミック下における安全からの排除、女性の権利からの排除、民主主義からの排除など、世界で排除にさらされる人々を映した写真、排除にさらされがちな人々自らが映した写真の展示を通して、誰もが尊厳を持ち生きる世界を、来場者の方々とともに考えてゆきたいと思います。

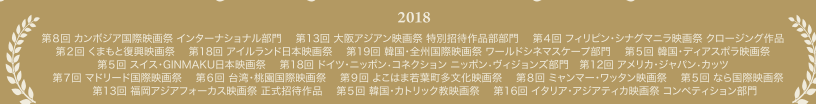
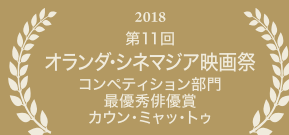
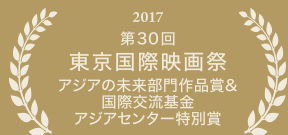
企画展関連イベント 上映会

日本とミャンマー、二つの国で揺れる家族の愛の物語

## 僕の帰る場所

P a s s a g e o f L i f e

日本・ミャンマー合作映画



藤元明緒 長編初監督作品

文部科学省特別選定(成人向き) 文部科学省選定(家庭向き、青年向き)

出演:カウン・ミヤツ・トゥ ケイン・ミヤツ・トゥ アイセ テツ・ミヤツ・ナイン 來河侑希 黒宮ニイナ 津田寛治



いつか会える、その日まで

上映日時: 2021(令和3)年11月20日(土) 14時~(上映時間98分)

上映会場: 川崎市平和館 1階平和の広場

要申込: 先着50名様 川崎市平和館HPのフォーム、またはお電話(044-433-0171)でお申し込みください(締め切り 11月18日)

